

吉祥寺 KICHIJOJI パークエリア

第6号

きちば未来通信

開催報告

対話の場「第2回 きちば未来会議」を開催しました！

7月11日(土)と25日(土)に、第2回「きちば未来会議」を開催しました。今回から、参加者同士の対話がより丁寧に行えるよう、「市民・事業者等の参加者」と「パークロードや井ノ頭通り沿道の権利者の参加者」に分けて実施しました。

はじめに、第1回きちば未来会議のテーマ「パークエリアで大切にしたいもの」について集まった意見と、市のこれまでの取り組みを通じて得られた意見を合わせて、事務局で「パークエリアの価値」として整理・分析した結果を共有しました。



第1回きちば会議で出た「まちの大切にしたいもの」を地図に示しました。「こうなったらいいもの」も「まちの問題点」として整理し、見える化していきます。

第1回の成果

- ・日常生活の中で、自然や四季を感じ、触れられる
- ・自己表現ができ、幅広い他者の表現にも触れられる
- ・店を選択できる利便性と楽しさ、偶然の出会いがある
- ・変化しながらも、世代を超えて思い出の残る都市生活ができる
- ・人とのつながりによって生まれる活気と安心感がある
- ・利便性を兼ね備えたゆとりある閑静な住環境がある
- ・生活道路の交通量が少なく歩きやすい交通環境がある

これまでの取り組みで得た意見

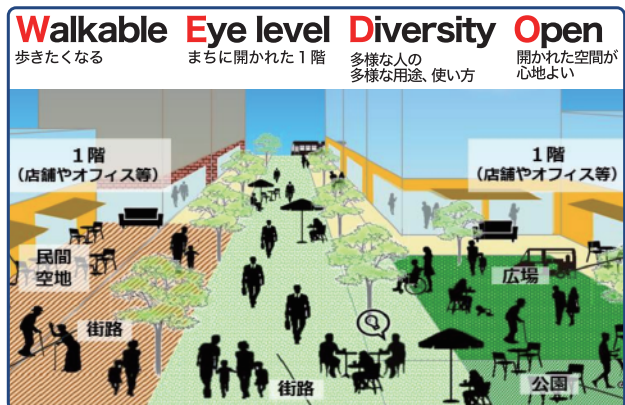
+

パークエリアの価値

多様な人が、
それぞれの過ごし方・
関わり方を見つけられる

グループワークに入る前に、「人中心のまちづくり」について、国が示す「WE DO（居心地が良く歩きたくなるまちなかづくり）」の考え方と効果を共有しました。WE DO では、右図に示す4つの観点が重要とされています。

近年、世界の多くの都市で、まちなかを車中心から人中心の空間へ転換し、多様な活動が生まれる場をつくる取り組みが進められています。武蔵野市でも、駅前広場での吉祥寺音楽祭や、道路・暫定広場を活用した社会実験などを実施しています。きちば未来会議では、市内の事例に加え、先進事例も紹介しました。



出典：国土交通省「都市の多様性とイノベーションの創出に関する懇談会」提言（2019年）

グループワークで出された

「こうなったらいいな」から地域の課題を探る

第2回のテーマは「パークエリアでこうなったらいいもの」。参加者それぞれがパークエリアでの印象的な体験を振り返り、カードを使って「いつ・誰と・どこで・こうなったらいいなと感じたきっかけ」といった具体的なエピソードを整理し、発表しました。さらにそれが良くなるとどんな過ごし方や活動ができそうかも意見交換し、吉祥寺パークエリアに対する問題意識を参加者同士で共有しました。各グループで共有された129件のエピソードの中からいくつか抜粋してご紹介します。



現在、事務局では第2回の成果をまとめながら、パークエリアで感じられている「問題」と「解決を目指す課題」などを整理しています。第3回からは、エリアの将来を考えるうえで特に大切なテーマに焦点を当て、対話を深めていきます。具体的には、課題を解決する方法のイメージや、それぞれの方法に期待できること・気になることなどを知ったうえで、パークエリアで残していきたい「価値」も大切にしながら、これからのまちづくりをどのように進めていくのかについて、意見を交わしていきます。

お知らせ

10月に「KICHIJOJI STREET PICNIC 2026」 (社会実験&オープンハウス)を開催します！



歩行者天国は
19:30~

日程 令和8年10月3日(土) 15:00~22:00
※雨天の場合10月4日(日)に延期

会場 パークロード・吉祥寺駅南口周辺
オープンハウスは南北自由通路にて開催

昨年度に引き続き、パークエリア社会実験を開催します。また、同日実施するオープンハウスでは、まちの模型を使って、みなさんの考えるパークエリアの目指す姿についてご意見を募集します。まちの未来の姿を想像し、意見を示す機会ですので是非ご来場ください！



吉祥寺パークエリア
KICHIJOJI PARK AREA

きちば未来通信

第6号

武蔵野市 都市整備部 都市再生課

〒180-8777 武蔵野市緑町2-2-28 ☎ 0422(60)1982

2026年9月11日発行